

【旅行編】

- ・ 海外のダイビング旅行は1人で行動する。
目的が撮影のため。
- ・ 海外のダイビングクルーズはスタッフも客も日本人がいない船に乗る。
日本語を使用すると話しが長くなり、撮影が優先できない。
- ・ 海外のダイビング旅行はダイビングだけでなく、必ず陸の観光を入れる。
貴重な生物、珍しい生物現象、遺跡、世界遺産等を撮影する。
マイナーな場所へ行くことが多いので、海以外のその国の目玉を撮影する。

【ダイビング編】

- ・ 良い映像を撮影するためにダイビング本数は20本以上を目標にする。
- ・ カメラ派とはバディを組まない。
ビデオの映像にフラッシュが入り、ビデオの価値が下がる。

【撮影編】

- ・ 水中ではダイバーは撮影しない。
撮影場所がメジャーでない貴重な海のため、人類以外の生物優先で撮影する。
- ・ 日本人は撮影しない。
グローバルなインターナショナルビデオにするため。
- ・ クルーズの場合は船とクルーと船長を必ず撮影し、クルーズ以外は現地ショップの関係者（オーナー、ガイド、ポートキャプテンなど）を撮影する。
- ・ 陸の撮影は必ず三脚を使用する。
- ・ エンディング用に必ずサンセットを撮影する。

【編集編】

- ・ 水中映像を優先して編集する。
- ・ 全編へ主に海外のヒーリング音楽をアフレコする。
リラクゼーションを目的にしたビデオのため。
アルファ波を出すのを目的にしたビデオのため。
一度使用した曲は原則として2度使用しない。
- ・ 英語版で編集する。
海外のクルーズ船オーナー、ガイド、海外現地ショップ、大使館などへプレゼントするグローバルなビデオのため。
- ・ ナレーションは入れない。
2回以上観るとナレーションを覚えて飽きるため。
ナレーションが入るとリラクゼーションにならないため。
- ・ 魚の名前などの文字は入れない。
学習用ビデオ、図鑑用ビデオでないため。
但し、最後の附録に入れる場合がある。
場所の名前を入れる場合がある。
- ・ エンディングは必ずサンセットを入れる。